

2020年度

授 業 計 画

北海道医療大学
医療技術学部

〈建学の理念〉

知育・徳育・体育
三位一体による医療人としての全人格の完成

〈教育理念〉

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

〈教育目標〉

本学の教育理念を実現するため、教育の目標を次のとおりとする。

1. 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
2. 確かな専門の知識および技術の修得
3. 自主性・創造性および協調性の確立
4. 地域社会ならびに国際社会への貢献

〈医療技術学部教育理念〉

本学の教育理念を基本として、最先端の科学的知識を基盤とした臨床検査の専門職の養成を図る教育を推進する。科学的専門知識と技術の開発・教授に留まらず、「考える力」を駆使する課題解決能力に秀でた人材の養成と、また、保健・医療・福祉の連携・統合を意識し、広い視野を備えた専門職業人の養成により、地域・国際社会ならびに人類の健康と幸福に貢献することを医療技術学部臨床検査学科の教育理念とする。

〈医療技術学部教育目的〉

医療技術学部臨床検査学科の教育理念に沿って、最先端の科学的知識を基盤とする専門知識と技術に裏打ちされた課題解決能力を身につけ、確固たる倫理観と専門性に基づいて保健・医療・福祉の分野で社会に貢献できる専門職業人としての臨床検査技師の養成を本学科の教育目的とする。

〈医療技術学部教育目標〉

医療技術学部臨床検査学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 医療人としての豊かな人間性と高い倫理観の涵養
2. 高い専門知識と技術の修得
3. 生涯にわたり自ら研鑽し向上する意欲の涵養
4. チーム医療の一員として協調性を持って職責を果たす能力の修得
5. 問題提起と解決能力の涵養

北海道医療大学 三方針

＜入学者の受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）＞

北海道医療大学は、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究し、社会の要請と期待に応えるため、保健と医療と福祉に関する高度の研究に裏打ちされた良質な教育を行います。その教育を通して、チーム医療をはじめ地域社会や国際社会に貢献できる自立した専門職業人を育成することを目標としています。

そのため、本学では次のような人材を広く求めています。

1. 入学後の修学に必要な基礎的学力を有していること。
2. 協調性や基礎的コミュニケーション能力を有していること。
3. 生命を尊重し、他者を大切に思う心があること。
4. 保健・医療・福祉に関心があり、地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという目的意識を持っていること。
5. 生涯にわたって学習を継続し、自己を磨く意欲を持っていること。

＜教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）＞

北海道医療大学は、「保健と医療と福祉の連携・統合」をめざす教育理念を基本として、広く社会に貢献できる確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成するために、「全学教育科目」と各学部・学科の「専門教育科目」からなる学士課程教育を組んでいます。

医療技術学部

医療技術学部臨床検査学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 1年次には、医療人としての豊かな人間性と幅広い教養を養う全学教育科目、さらに、チーム医療に求められるコミュニケーション能力を養い、多職種連携に関する理解を深めることを目的とした全学部学生が合同でおこなう科目を配当する。また、人体の構造や機能を学ぶ基礎医学科目や早期に臨床検査分野に対する動機付けを図るための臨床検査学の基礎に関する専門科目を配当する。
2. 2年次には、臨床検査に対する理解を深め、専門知識を豊富にすることを目的とした臨床検査学の講義および実習科目を配当する。
3. 3年次には、臨床検査技師に必要な技術を修得することを目的とした臨床検査学および関連する実習科目、さらに医療現場での臨床検査に関する知識を深め、臨床検査技師としての自覚を培うことを目的とした臨床実習を配当する。また、臨床の現場で実際に臨床検査技師が関わるチーム医療や在宅医療の理解、患者への接遇、リスクマネジメントの重要性を学ぶことを目的とした科目を配当する。
4. 4年次には、研究を通して、科学的な思考による問題解決能力やプレゼンテーション能力を養うことを目的とした卒業研究を配当する。さらに、創造性、思考力、生涯にわたり自己研鑽する意欲を備え、指導的役割や教育・研究を担う臨床検査技師

としての能力、同時に、先進・高度化する医療に対応できる能力を養うことを目的とした科目を配当する。

5. 国際的な視野で活躍できる力の育成に向けて、1年次～4年次にわたって英語の科目、そして1年次に初修外国語（ドイツ語、中国語、ロシア語）を配当し、さらに、英米哲学の問題理解（人間と思想）、グローバルな観点からの自然環境・社会経済の変化と感染症（医療社会史）、欧米の医療保険制度（医療の経済学）などの異文化理解に関する科目を配当する。
6. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、実技試験、ルーブリックを用いたレポート評価などを適宜実施する。

<学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）>

北海道医療大学は、各学部・学科の教育理念・目標に沿った学士課程の授業科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、かつ各学部が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

医療技術学部

医療技術学部臨床検査学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
2. 臨床検査に必要な知識と技術を修得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
4. 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。
6. 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。



2020年度 医療技術学部授業計画

目 次

◇医療技術学部年間教務日程	3
◇時間割	
・前期	4
・後期	5
◇全学教育について	6
◇開講科目一覧	9
◇履修規程	11
◇履修登録から単位修得まで<フローチャートⅠ>	14
◇仮進級の単位修得<フローチャートⅡ>	15
◇卒業に必要な単位数	16
◇オフィスアワー	16
◇全学教育科目	
・第1学年	1
・第2学年	54
◇専門科目	
・第1学年	57
・第2学年	87
◇全学教育科目<科目概要>	
・第3～4学年	153
◇専門科目<科目概要>	
・第3～4学年	155
◇科目別索引	165
◇カリキュラムマップ	
◇カリキュラムツリー	

2020年度 医療技術学部臨床検査学科 教務日程

日	月	火	水	木	金	土	学事内容		大学行事等	
							第1学年	第2学年		
4			1	2	3	4	・全学オリエンテーション 4/7(火) 当別 ・学部学科別ガイダンス 4/8(水) あいの里 ・学内オリエンテーション 4/9(木) あいの里 ・授業開始 4/13(月)～ ・教科書販売4/8(水)～24(金) 【4/28(火)水曜振替日】	・授業開始 4/6(月)～ ・前期教務ガイダンス 4/6(月) ・教科書販売 4/1(水)～24(金) 【4/28(火)水曜振替日】	・入学式 4/11(土)	
	5	6	7	8	9	10				11
	12	13	14	15	16	17				18
	19	20	21	22	23	24				25
	26	27	28	29	30					
5						1	・仮進級者試験		・健康診断 5/12(火) あいの里	
	3	4	5	6	7	8				9
	10	11	12	13	14	15				16
	17	18	19	20	21	22				23
	24	25	26	27	28	29				30
	31									
6		1	2	3	4	5	臨床検査学入門Ⅱ 施設見学 6/26(金)		・大学祭 6/20(土)・21(日) ・大学祭振替休日 6/22(月) ・防災訓練 6/25(木)	
	7	8	9	10	11	12				13
	14	15	16	17	18	19				20
	21	22	23	24	25	26				27
	28	29	30							
7				1	2	3	臨床検査学入門Ⅰ 病院見学 7/10(金)・7/17(金)	臨床検査学入門Ⅱ 施設見学 7/3(金)・7/17(金)		
	5	6	7	8	9	10				11
	12	13	14	15	16	17				18
	19	20	21	22	23	24				25
	26	27	28	29	30	31				
8						1	・夏季休業 8/5(水)～8/23(日) ・前期定期試験 8/24(月)～9/4(金)	・夏季休業 8/8(土)～8/31(月)	・アルバート大学語学研修 8/8(土)～22(土) ・大学休業日 8/13(木)～16(日)	
	2	3	4	5	6	7				8
	9	10	11	12	13	14				15
	16	17	18	19	20	21				22
	23	24	25	26	27	28				29
	30	31								
9		1	2	3	4	5	・後期授業開始 9/7(月)～ ・後期ガイダンス 9/7(月) 【9/16(水)月曜振替日】 【9/24(木)火曜振替日】	・後期授業開始 9/1(火)～ ・後期ガイダンス 9/1(火) 【9/16(水)月曜振替日】 【9/24(木)火曜振替日】	・防災訓練(大地震想定)	
	6	7	8	9	10	11				12
	13	14	15	16	17	18				19
	20	21	22	23	24	25				26
	27	28	29	30						
10						1	【10/16(金)月曜振替日】	【10/16(金)月曜振替日】	・創立記念日 10/10(土) ・創立記念日振替休日 10/12(月) ・後援会地区別懇談会 10～11月	
	4	5	6	7	8	9				10
	11	12	13	14	15	16				17
	18	19	20	21	22	23				24
	25	26	27	28	29	30				31
11										
	1	2	3	4	5	6				7
	8	9	10	11	12	13				14
	15	16	17	18	19	20				21
	22	23	24	25	26	27				28
	29	30								
12			1	2	3	4	・基礎機器分析演習 当別見学 ・前期定期試験 追・再試験 12/14(月)～18(金) ・冬季休業 12/21(月)～1/11(月)	・前期定期試験 追・再試験 12/15(火)～21(月) ・冬季休業 12/22(火)～1/11(月)	・大学休業日 12/29(火)～1/5(火)	
	6	7	8	9	10	11				12
	13	14	15	16	17	18				19
	20	21	22	23	24	25				26
	27	28	29	30	31					
1						1	・後期授業再開 1/12(火)～ ・後期定期試験 1/26(火)～2/8(月)	・後期授業再開 1/12(火)～ ・後期定期試験 1/19(火)～2/1(月)		
	3	4	5	6	7	8				9
	10	11	12	13	14	15				16
	17	18	19	20	21	22				23
	24	25	26	27	28	29				30
	31									
2		1	2	3	4	5	・後期定期試験 追・再試験 2/19(金)～26(金)		・後期定期試験 追・再試験 2/12(金)～18(木)	
	7	8	9	10	11	12				13
	14	15	16	17	18	19				20
	21	22	23	24	25	26				27
	28									
3		1	2	3	4	5	・進級判定	・進級判定	・学位記・卒業証書授与式	
	7	8	9	10	11	12				13
	14	15	16	17	18	19				20
	21	22	23	24	25	26				27
	28	29	30	31						

■ は、大学休業日・祝祭日・振替休日

各期の授業期間等

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期 期間
前期	1年	15	15	15	15	15	4/13～8/4	4/1～9/6
後期	1年	15	15	15	15	15	9/7～12/11 1/12～1/25	9/7～3/31

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期 期間
前期	2年	15	15	15	15	15	4/6～7/28	4/1～8/31
後期	2年	15	15	15	15	15	9/1～12/14 1/12～1/18	9/1～3/31

2020年度 医療技術学部臨床検査学科 前期授業時間割

時間割

曜日	学年	講時					キャンパス
		I 9:00 ~ 10:20	II 10:30 ~ 11:50	III 12:40 ~ 14:00	IV 14:10 ~ 15:30	V 15:40 ~ 17:00	
月	1年	前半	多職種連携入門【安部ほか】		基礎化学【鈴木】		当別※
		後半	人間と文化(医療社会史)【保岡】	人間と文化(医療の人類学)【花濑】	人間と思想(科学技術社会と倫理)【磯部】	基礎ゼミナール(自然科学概論演習) 数学講義:【原田】 化学演習:【鈴木ほか】実習室(化学) 生物演習:【近藤ほか】実習室(生物・物理)	
	2年	免疫検査学Ⅰ 【坊垣】講義室1	臨床病理学Ⅰ 【幸村ほか】講義室1	生理学実習【小野ほか】実習室C			あいの里
	3年						
4年							
火	1年		初級中国語 【呉】講義室4	臨床検査学入門Ⅰ 【近藤啓ほか】講義室4	医学概論 【幸村ほか】講義室4		あいの里
	2年	臨床検査総論Ⅱ 【吉田】講義室1	臨床病理検査学 【近藤啓ほか】講義室1	生化学実習 【藏満ほか】実習室B			
	3年						
	4年						
水	1年	初級ロシア語 【オレーヤージュ】講義室4	物理学 【長谷川】講義室4	生物学 【近藤朋】講義室4	生理学Ⅰ 【幸村ほか】講義室4	初級ドイツ語 【阿部】講義室4	あいの里
	2年	臨床生理学Ⅰ 【幸村】講義室1	医動物学 【松尾】講義室1	解剖学実習 【丸川ほか】実習室A			
	3年						
	4年						
木	1年	化学 【鈴木】講義室4	解剖学Ⅰ 【田中】講義室4	前半 基礎生物学【松尾】講義室4			あいの里
	2年	臨床化学Ⅰ 【遠藤ほか】講義室1	医用工学概論 【江本】講義室1	遺伝子検査学 【吉田】講義室1	英語Ⅱ(英語ⅡA) 【白鳥】講義室1		
	3年						
	4年						
金	1年	オーラル・イングリッシュA 【ホガードほか】 講義室4・講義室3	生化学Ⅰ 【藏満】講義室4	前半 基礎統計学【江本】講義室4			あいの里
	2年	保健医療福祉演習 【黒澤ほか】講義室1	臨床血液学Ⅰ 【田中】講義室1	前半 公衆衛生学実習【山崎ほか】実習室B・実習室A			
	後半			臨床検査学入門Ⅱ【丸川ほか】講義室1			
	3年						
4年							

※当別キャンパスの教室は別途案内します。

2020年度 医療技術学部臨床検査学科 後期授業時間割

時
間
割

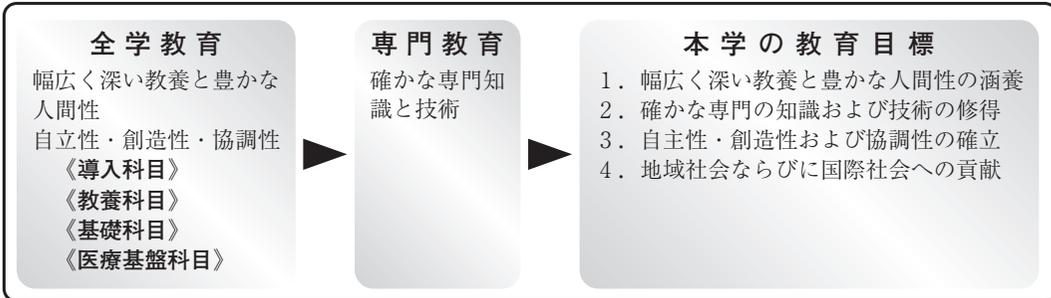
曜日	学年	講時					キャンパス
		I 9:00 ~ 10:20	II 10:30 ~ 11:50	III 12:40 ~ 14:00	IV 14:10 ~ 15:30	V 15:40 ~ 17:00	
月	1年		中級中国語 【呉】講義室4	検査機器学 【松尾ほか】講義室4	基礎機器分析演習 【山崎ほか】実習室B・実習室A		あいの里
	2年	栄養学 【荒川】講義室1	臨床血液学 II 【田中】講義室1	臨床病態学 II 【坊垣】講義室1	総合臨床検査学演習 I 【江本ほか】講義室1		
	3年						
	4年						
火	1年	人間と思想(哲学)【森元】	運動科学演習 【山口ほか】アリーナ	情報科学 【二瓶】情報処理室	医療情報処理演習 【二瓶】情報処理室		当別※
		人間と思想(心理学)【安部】					
		人間と社会(医療の経済学)【金盛】					
		人間と社会(医療の法学)【姫嶋】					
火	2年	臨床病態学 III 【幸村】講義室1	薬理学 【岩尾】講義室1	遺伝子検査学実習 【吉田ほか】実習室B			あいの里
	3年						
	4年						
	4年						
水	1年	中級ロシア語 【オレーヤージュ】講義室4	公衆衛生学 【和田】講義室4	前半 基礎医療倫理学 【磯部】講義室4	生理学 II 【幸村】講義室4	中級ドイツ語 【阿部】講義室4	あいの里
	2年	核医学概論 【北浦】講義室1	臨床生理学 II 【小野】講義室1	後半	臨床検査総論実習 【高橋祐司ほか】実習室B		
	3年						
	4年						
木	1年		臨床検査学総論 I 【吉田】講義室4	解剖学 II 【田中ほか】講義室4			あいの里
	2年	臨床細胞診断学 【丸川ほか】講義室1	臨床化学 II 【高橋祐司ほか】講義室1	前半 医動物学演習【松尾ほか】実習室A			
	3年						
	4年						
金	1年	オーラル・イングリッシュB 【ホガードほか】 講義室4・講義室3	病理学 【蔵満】講義室4	生化学 II 【蔵満】講義室4	前半 日本語の表現 【井上ほか】講義室4・講義室3		あいの里
	2年	微生物学 【山崎ほか】講義室1	免疫検査学 II 【坊垣】講義室1	医用工学実習 【江本ほか】実習室B			
	3年						
	4年						

※当別キャンパスの教室は別途案内します。

全学教育について

1. 北海道医療大学の教育プログラム

本学の教育プログラムは、全学教育と専門教育から成り立っています。



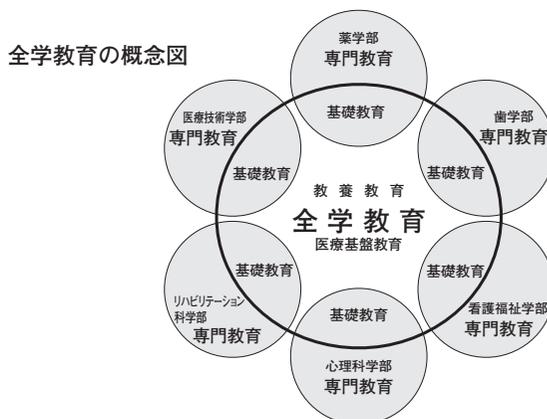
全学教育と専門教育は、履修の仕組みに関して違いはありませんが、授業科目の提供の仕方が違います。

全学教育は、全学共通の視点で「全学教育推進センター」から主に人間基礎科学系教員によって授業が提供されます（一部では、専門教育担当教員も授業を提供しています）。教育目標の「幅広く深い教養と豊かな人間性」「自立性・創造性および協調性」「地域・国際社会への貢献力」を主に支えます。各学部学科は、これを活用して、入学から卒業までのカリキュラムを設計しています。

専門教育は、学部・学科ごとに主に専門教育担当教員が授業を提供するものです。教育目標の「確かな専門の知識および技術」を大きく支えます。

2. 全学教育とは

全学教育とは、北海道医療大学の教育目標を達成するために、全学共通の視点から提供される授業科目群のことを指します。他大学では教養教育、一般教育、共通教育などと呼ばれているものが該当します。



人間基礎科学系教員は、学部と全学教育推進センターの双方に籍を置き、専門教育との連携で全学部が活用する全学教育を中心的に担っています。

専門教育担当教員は、学部学科で専門教育を担うとともに、全学教育にも責任をもち、全学教育の授業を担当する場合があります。

3. 全学教育の種類と科目区分

全学教育は＜教養教育＞、＜基礎教育＞、＜医療基盤教育＞に区分されます。

教養教育	幅広く深い教養と豊かな人間性を支える科目からなります。いわゆる人間力、社会人力となります。導入科目と教養科目に区分されています。	
	導入科目	大学で学ぶ態度・習慣、技術を身につけます。 基礎ゼミナールと文章指導からなります。
	基礎ゼミナール	学生主体で、幅広く学ぶ技術を身につけます。
	文章指導	具体的論述のほか、抽象的表現を書けるようにします。
	教養科目	人間力の中心（教養のコア）をつくる科目として重視され、人間力の基礎を築きます。生きていくための幅広い力をバランスよく身につけるために4つの科目を用意しています。基礎科目とのバランスで履修します。
	人間と思想	哲学・宗教・倫理などを通して、諸科学の基盤となる論理的思考と生きるための倫理観を身につけます。
人間と文化	文化を考察することで、人間の生のあり方を深く理解します。また異文化理解を通して、他者との共生の道を探ります。	
人間と社会	社会・経済・法律について考えることで、現代社会の様々な課題を学びます。	
自然と科学	自然と科学を様々な視点から正しく認識するため、物理学・生物学・化学に関する教養を学びます。	
基礎教育	専門教育を学ぶための基礎をつくる科目からなります。	
外国語科目	英語・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・ロシア語の学習を通して、国際性と異文化理解能力を身につけます。	
健康・運動科学科目	健康や運動に関する基礎的知識を習得するとともに、健康を日常的に支える能力を養います。	
情報科学科目	現代の生活を支えるコンピュータ技能とその活用方法を、実習も重視しながら学びます。	
自然科学科目	専門の土台となる物理学・生物学・化学を、実験も重視しながら学びます。 高校で基礎を学んでいない学生向けに、補正科目として自然科学入門も用意しています。	
人文社会科目	法学、経済学、文化人類学など、専門の土台となる人文社会系科目を学びます。	
医療基盤教育	医療全体に共通する基本的内容の科目となります。	
医療基盤科目	地域連携	地域とともにある医療の基礎を学びます。
	医療倫理	医療の場で求められる共通の態度・習慣を身につけます。
	多職種連携	専門職種間の有機的な連携と協業について学びます。

4. 授業科目と授業題目

「授業科目」には、授業内容を具体的に表す「授業題目」が複数用意されているものがあります。この場合、履修規程にしたがってどの授業でも選択し、履修することができます。教養の多様性を重視する本学の教育において、各学生が様々な授業を選択できるように配慮しているからです。

特に教養科目では、内容を具体的に示す題目ごとに様々な授業が実施されており、履修した授業の単位は、その「授業題目」が置かれている「授業科目」の単位となります。

5. 単位とは

その授業の学習目標を達成したことの証拠となるものです。

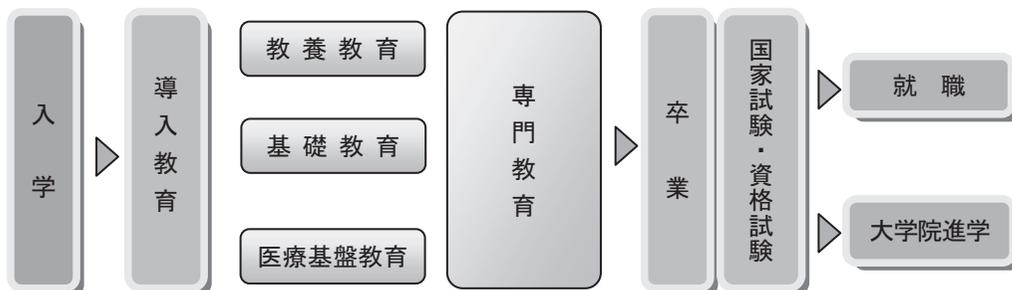
授業に出席するだけでなく、予習と復習を行ない、定期試験やレポートなどで所定の成果が得られて初めて単位を得た（修得した）こととなります。なお、予習と復習の学習内容については、シラバスの「学習の準備」欄に具体的に記載してあったり、担当教員から指示があります。

卒業のために必要な単位数は学部・学科ごとに定められています。自分がこれまで何単位を修得しているか、卒業するためにはどの分野の科目を何単位修得すればよいかなどを把握しておくことが重要です。

本学の1授業時間は、80分です。15回の授業に予習と復習を合わせて2単位となることが基本ですが、1.5単位であったり、また語学や演習科目、実験科目などは1単位となる場合があります。

6. 科目履修の概念図

入学してから卒業までの学習の過程、全学教育と専門教育との関係は図のようになります。



開 講 科 目

【医療技術学部臨床検査学科 全学教育科目】

種類	科目区分	授業科目	授業題目	単位数		開講年次・時間数								備考		
						1学年		2学年		3学年		4学年				
						必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール 文章指導	自然科学概論演習	1	30											2授業科目 4単位以上修得
			日本語の表現	1		15										
	教養科目	人間と思想 人間と文化 人間と社会	哲学	2	30											
			科学技術社会と倫理	2	30											
			心理学	2	30											
			医療の人類学	2	30											
			医療社会史	2	30											
医療の法学	2	30														
医療の経済学	2	30														
基礎教育	外国語科目	英語I 英語II 英語III 初修外国語	オーラル・イングリッシュA	1	30											2単位以上修得
			オーラル・イングリッシュB	1	30											
			英語IIA	1		30										
			英語IIB	1				30								
			医療英語基礎	1								30				
			初級ドイツ語	1	30											
			中級ドイツ語	1	30											
	初級ロシア語	1	30													
	中級ロシア語	1	30													
	初級中国語	1	30													
	中級中国語	1	30													
	健康・運動科学科目	運動科学演習	1	30												
	情報科学科目	情報科学	2	30											指定科目	
		情報処理演習	1	30											指定科目	
統計学		1	15													
自然科学科目	物理学 化学 生物学	物理学	2	30												
		化学	2	30												
		生命科学	2	30												
医療基盤教育	医療基盤科目	多職種連携	2	30												
		医療倫理	1	2	15											

全学教育科目 合計29単位以上（うち必修23単位）

開 講 科 目

【医療技術学部臨床検査学科 専門教育科目】

区分	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考			
				1学年		2学年		3学年		4学年					
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学 I	1	30											指定科目
		解剖学 II	1	30											指定科目
		解剖学実習	1		45										指定科目
		生理学 I	1	30											指定科目
		生理学 II	1	30											指定科目
		生理学実習	1		45										指定科目
		生化学 I	1	30											指定科目
		生化学 II	1	30											指定科目
	医学検査の基礎とその疾病との関連	生化学実習	1		45										指定科目
		医学概論	1	30											指定科目
		病理学	1	30											指定科目
		薬理学	1				30								指定科目
		栄養学	1				30								指定科目
		臨床検査学入門 I	1	30											指定科目
	保健医療福祉と医学検査	臨床検査学入門 II	1				30								指定科目
		公衆衛生学	1	30											指定科目
		公衆衛生学実習	1		45										指定科目
		関係法規	1								30				指定科目
	医療工学及び情報科学	医療情報科学	1						30						指定科目
		医用工学概論	1				30								指定科目
医用工学実習		1						45						指定科目	

医療技術学部履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北海道医療大学学則（以下「学則」という。）第33条に定める医療技術学部学生の履修方法等について、必要な事項を定める。

(履修)

第2条 授業科目の所定の授業時間数の70%以上に出席し、試験等を受験した者は当該授業科目を履修したものとする。

(修得)

第3条 前条に定める履修の要件を満たし、試験等の結果、当該授業科目の評価が可以上の成績に認定された者は当該授業科目を修得したものとする。

(失格)

第4条 この規程において失格とは、第2条に定める当該授業科目への出席が70%未満で、試験を受験する資格がないことをいう。

(授業科目)

第5条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に修得することを原則とする。
2 在籍する学年より下級学年に配当されている授業科目を履修することは、支障のない限り許可されるが、上級学年に配当されている授業科目を履修することはできない。

(履修手続)

第6条 授業科目を履修するには、学期の始めに、当該学期に履修しようとする授業科目について、指定された期間内に履修届を医療技術学課に提出し、履修登録をしなければならない。
2 前項に定める手続を行わない者は、当該学期に当該授業科目を履修することはできない。
3 履修登録した授業科目の変更、追加、取り消しは認めない。
4 卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間に履修登録することができる単位数の上限は、原則として46単位とする。ただし、編入学生についてはこの限りではない。
5 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は制限単位数を超えて履修登録を行うことができる。

(試験)

第7条 履修登録した授業科目の単位修得のために試験を行う。
2 試験には、定期試験、追試験、再試験及び仮進級者試験がある。ただし、授業科目により、その他随時諸種の試験等を行うことがある。
3 次の各号のいずれかに該当する者は試験を受験することができない。
(1) 前条に定める履修登録をしていない者
(2) 失格となった者
(3) 試験開始時間に20分を超えて遅参した者
(4) 学生証を所持しない者
(5) 授業料、その他納入金を所定の期日までに完納していない者
4 試験日程及び時間割等は、別に定める。

(定期試験)

第8条 定期試験は各学期末に行う。

(試験欠席届)

第9条 前条に定める定期試験を欠席した者は、当該授業科目の試験終了後、1週間以内に試験欠席届を医療技術学課に提出しなければならない。この場合、当該試験欠席

届には、欠席の事由により、次の各号に定める書類を添付しなければならない。

- (1) 疾病による場合
医師の診断書（受験できなかった事由、期間が記載されているもの）
- (2) 交通事故の場合
警察署の事故証明書又は交通機関の管理者の事故・遅延等の証明書（ただし、証明書が発行されない交通機関等の場合は、速やかに申し出ること。）
- (3) 忌引の場合
父母又は保証人の証明書
- (4) その他緊急やむを得ない場合
理由書

2 前項に定める届出のない者は、受験放棄とみなし、当該授業科目を履修無効とする。

3 第1項の届出における欠席の事由が正当と認められない者は、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

（追試験）

第10条 追試験とは、前条の届け出における欠席の事由が正当と認められた者に対して行う試験をいう。

2 追試験を受験する者は「追試験申込書」を指定の期限までに医療技術学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 前項に定める受験手続きを完了していない者及び追試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

（再試験）

第11条 再試験とは、定期試験の結果が60点未満の者に対して行う試験をいう。

2 再試験を受験する者は、「再試験申込書」に受験料（1科目2,000円）を添えて、指定の期限までに医療技術学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 再試験における成績の評価は、可（60点）以下とする。

4 第2項に定める受験手続きを完了していない者及び再試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の成績は定期試験時の評点とし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

（試験中の不正行為）

第12条 試験中に不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わなかった者には、即時試験場から退場を命じ、以後の受験を停止し、学則第44条に基づき懲戒する。

2 前項の不正行為をした者は当該授業科目並びに当該試験期間中の受験該当授業科目全科目の評点を0点とみなす。

（受験心得）

第13条 受験心得については、別に定める。

（進級判定）

第14条 進級の判定は、学年末に教授会において行う。

（進級・仮進級）

第15条 当該学年に配当されている必修科目をすべて修得した者は、進級とする。

2 当該学年に配当されている必修科目（実習科目を除く）の合計のうち20%を超えない不合格科目数の場合は、仮進級とすることができる。ただし、必修科目が失格・履修無効となった者は、原則として仮進級できない。

3 第4学年への仮進級は認めない。

（仮進級者試験）

第16条 仮進級者試験とは、仮進級者に対して当該不合格必修科目について行う試験をいう。

2 仮進級者試験での不合格科目は、その年度の不合格科目数に加算する。

- 3 仮進級者試験は、第11条の「再試験」を読み替えて準用する。
- 4 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は仮進級とする場合がある。

(留年)

第17条 第15条に定める進級または仮進級の条件を満たさない者は、留年とする。

- 2 留年した者は、当該学年に配当されている必修の不合格科目及び失格・履修無効となった科目を再履修しなければならない。

(臨床実習の履修資格)

第18条 第3学年前期までに配当されている必修科目を全て修得した者に対し、臨床実習の履修資格を与える。

(自由選択科目)

第19条 自由選択科目の単位は、卒業必要単位に含まない。

(補則)

第20条 この規程に定めのない事項は、教授会で決定する。

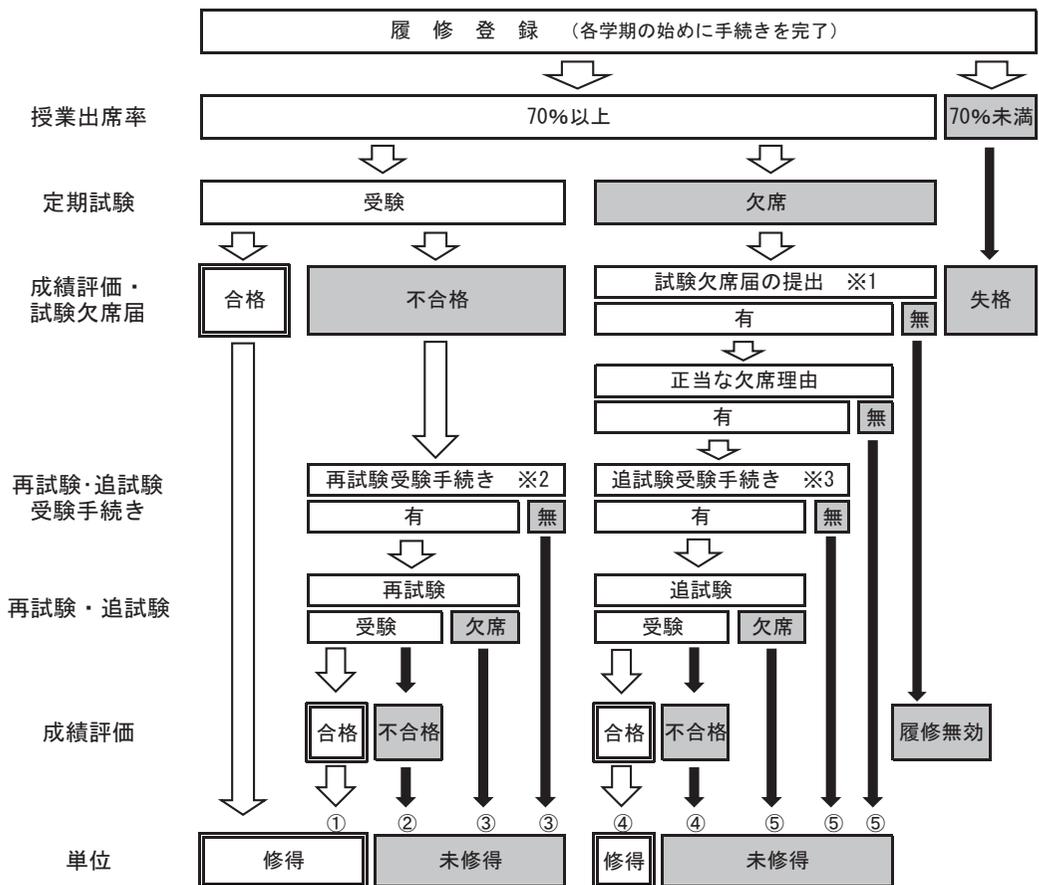
(改廃)

第21条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が決定する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

履修登録から単位修得まで<フローチャート I >



※1 試験終了後1週間以内に、必要書類（診断書、事故証明書など）を添付の上、医療技術学課へ提出
 ※2 試験日の2日前までに手続き（証明書自動発行機にて受験票を購入）を完了 1科目2,000円
 ※3 試験日の2日前までに手続きを完了 無料

- ① 評点は60点（評価は「可」）
- ② 再試験時の評点
- ③ 定期試験時の評点
- ④ 追試験時の評点
- ⑤ 評点は0点

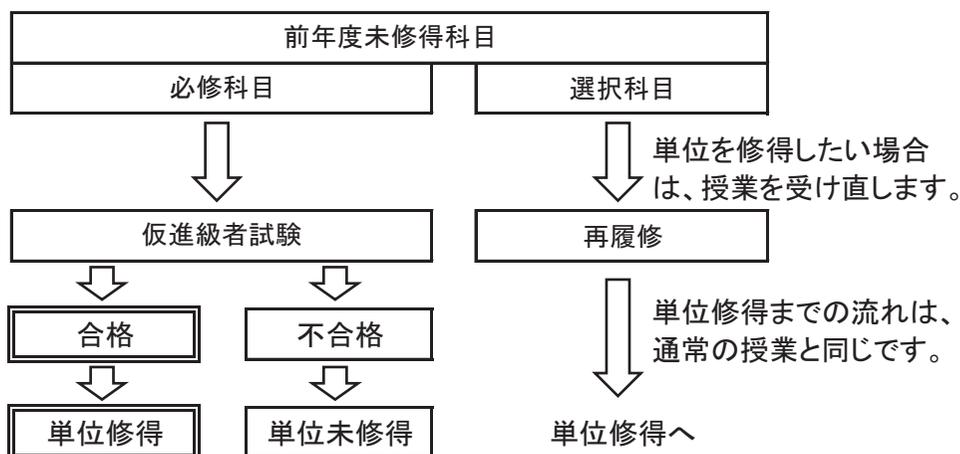
進級の基準（医療技術学部履修規程 第15条）

- ◎履修した全ての必修科目が合格（単位修得）の場合 ----- 進 級
- ◎必修科目（実習科目を除く）のうち、不合格科目数が20%を超えない場合 ----- 仮進級
 （但し、第4学年への仮進級は認めない。）
- ◎必修科目（実習科目を除く）のうち、不合格科目数が20%を超える場合 ----- 留 年
- ◎実習科目が不合格、必修科目に失格・履修無効がある場合 ----- 留 年

履修登録
単位修得

仮進級の場合の単位修得<フローチャートⅡ>

前年度未修得単位科目がある場合の単位修得までの流れ



仮進級の場合の単位修得について

必修科目に不合格がある場合でも、不合格必修科目数を考慮して仮進級が認められることがあります。その場合、前年度未修得科目は、以下の取り扱いで単位修得します。

- ① 仮進級者に対して仮進級者試験を行う。
- ② 受験手続は試験実施の2日前までとする。(1科目2,000円)
- ③ 合格者の評価は「可」とする。
- ④ 選択科目は仮進級者試験を行わないので、単位修得を希望する場合は再履修となる。
- ⑤ 仮進級者試験に不合格の場合、次年度に仮進級者試験を再度受験する。ただし、4年次への仮進級は認めない。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な所定の単位は次の通りです。

126単位以上 [全学教育科目において29単位以上 (必修科目23単位、選択科目6単位以上)、
専門教育科目において97単位以上 (必修科目93単位、選択科目4単位以上)]

オフィスアワー

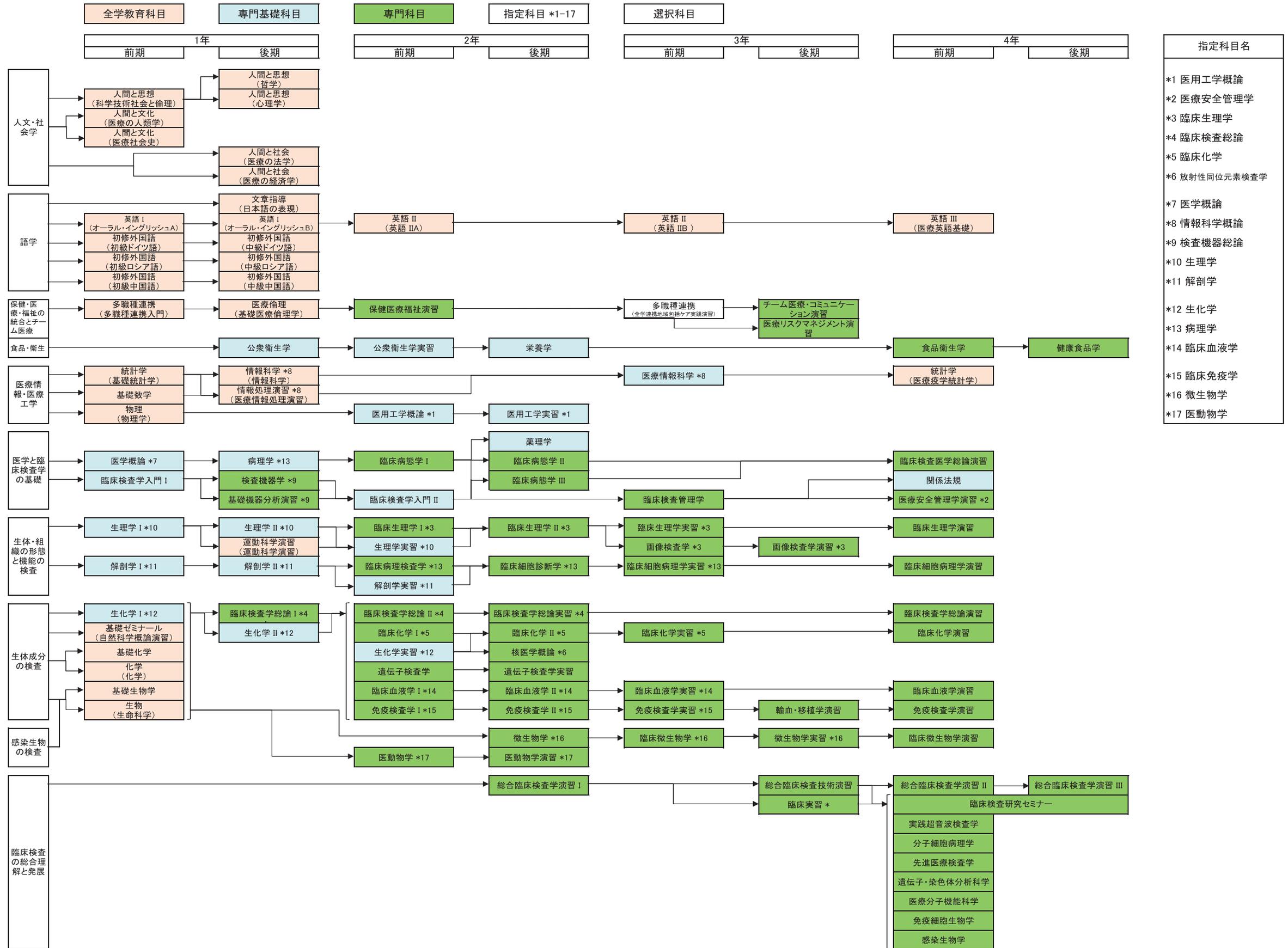
・オフィスアワーとは

教員が特定の曜日・時間をあらかじめ定め、学生からの授業に関する質問や学生生活、進路などの相談に個別に応じるため研究室等待機している制度です。面談を希望する場合は、各教員の日時を確認の上、利用してください。

1. オフィスアワーの時間帯は、研究室を訪ねる際に事前の予約は必要ありません。
2. オフィスアワーの時間以外でも研究室への来訪を受け付けている教員もいるので、E-mailなどで問い合わせてください。
3. 複数の学生が同時に利用することもあるため、授業の前後やE-mailなどで事前予約をすると確実です。
4. オフィスアワーに設定している時間帯であっても、会議や出張などで不在の場合があります。

※前期は4月、後期は10月にオフィスアワーを確定し、詳細を本学HPや掲示などで周知します。

医療技術学部 臨床検査学科 履修系統図



2020年度

授 業 計 画

2020年4月1日発行

編集発行 北海道医療大学
北海道石狩郡当別町金沢1757

印 刷 山 藤 三 陽 印 刷(株)



2020年度

北海道医療大学医療技術学部

授業計画